

学校評価

(1) 学校の取り組みに係る自己評価 5段階で評価したのち、3段階 (A:できている・B:できていない・C:わからない) の人数割合を表示

基本方針	基本的方向	施策	取組	達成状況			<input type="checkbox"/> よくできている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> まあまあできている <input type="checkbox"/> できていない		取組状況や改善方策
				A	B	C			
「生きる力」を育む教育の推進	「確かな学力」の育成	学力向上の推進	1. 指導計画の作成及び観点別評価と指導の一体化	75.0%	11.4%	13.6%	75.0%	11.4%	○板書計画や指導計画を教員間で共有し、効率的に学習指導ができるよう工夫している。 ○観点別評価によって生徒の応用力、思考力が見える化してきた。 ○OAIで母語・母文化についての学びや自尊感情を育成するとともに、探求活動につなげていきたい。 ○OAIやアートマイル等、生徒の進路実現にどのように活かしていくのか、内容の精査も含め考える時期に来ている。 ○WIFIの充実が課題、安定した接続が得られない。 ○ICTを使って、興味を持ちやすくするよう工夫した。
			2. 生徒の多様性に対応した授業	90.9%	6.8%	2.3%	90.9%	6.8%	
		国際理解を深める教育	3. 外部試験 (GTEC等) の活用	35.7%	28.6%	35.7%	35.7%	28.6%	
			4. AIタイムの充実	69.0%	14.3%	16.7%	69.0%	14.3%	
			5. アートマイル等海外校との交流	66.7%	11.9%	21.4%	66.7%	11.9%	
		情報活用能力の育成	6. 教員がICT機器を用いて行う授業	65.9%	29.5%	4.5%	65.9%	29.5%	
			7. 生徒が主体的にICT機器を活用する授業	40.9%	52.3%	6.8%	40.9%	52.3%	
	「豊かな心」の育成	人間力の育成	8. 生徒会活動の活性化	73.8%	19.0%	7.1%	73.8%	19.0%	○生徒が校則を大切にできるように、生徒会主体で校則について協議をすすめたい。 ○生徒会活動を企画の段階から全体で共有しながら進めてほしい。
			9. 生徒主体の文化祭	76.7%	18.6%	4.7%	76.7%	18.6%	
	「健やかな体」の育成	体験活動の推進	10. 研修(修学)旅行等校外学習の活性化	69.8%	18.6%	11.6%	69.8%	18.6%	○費用高騰に伴い、研修(修学)旅行の行先や日程の見直しが必要な時期が来ている。
			11. 生徒主体の体育大会スポーツ大会	76.2%	16.7%	7.1%	76.2%	16.7%	
		健康教育 安全教育	12. 活動方針に基づいた部活動の実施	58.1%	16.3%	25.6%	58.1%	16.3%	○生徒会を中心に体育大会やスポーツ大会など、安全に配慮しつつ実施できている。 ○6月10日は、毎日、朝と昼にWBGTを測定し職員室中央に記入している。 ○特別支援教育推進委員会と共有された生徒の状況を確認し、一人一人に応じた対応を心がけている。
			13. 登下校等の安全確保	76.2%	21.4%	2.4%	76.2%	21.4%	
	特別支援教育の推進	多様な学びの充実	15. 一人一人の多様な教育的ニーズに応じた教育の充実	76.7%	20.9%	2.3%	76.7%	20.9%	○学年外の教員や該当教員が真摯に取り組み、特別支援教育が充実し始めている。
			16. 特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応	79.5%	18.2%	2.3%	79.5%	18.2%	
	子どもたちの学びを支える環境の充実	教職員の資質・能力の向上	教職員の働き方改革の推進	17. 校務支援システムの運用	63.6%	22.7%	13.6%	63.6%	22.7%
18. 定時退勤や業務効率化への取組				31.8%	54.5%	13.6%	31.8%	54.5%	
学校の組織力の強化		情報共有	19. 情報セキュリティ徹底情報資産管理	63.6%	29.5%	6.8%	63.6%	29.5%	
			20. いじめアンケートによる早期発見・対応	76.7%	14.0%	9.3%	76.7%	14.0%	
家庭と地域による学校と連携した教育の推進		家庭との協働	21. PTAとの連携	62.8%	18.6%	18.6%	62.8%	18.6%	
			22. HPやClassiを活用した情報の発信	79.1%	16.3%	4.7%	79.1%	16.3%	
		地域への情報発信	23. 授業公開やオープンスクールの実施	83.3%	16.7%	0.0%	83.3%	16.7%	

(2) 兵庫県教職員資質向上指標による自己点検 5段階で評価したのち、3段階 (A:できている・B:できていない・C:わからない) の人数割合を表示

分野	資産	教員としての資質の向上に関する指標	A	B	C	<input type="checkbox"/> よくできている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> まあまあできている <input type="checkbox"/> できていない		
学習指導	授業実践力 授業改善力	1. 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。	83.7%	7.0%	9.3%	83.7%	7.0%	○特別的教育課程の運用による日本語指導は全国的に注目されており、本校の取り組みを積極的に発信して行ってほしい。 ○AIタイムを、進路を見据えて実施してはどうか。高校卒業後ではなく、大学卒業後、何になるのかを考えさせ、その進路につながるような授業展開ができると良いのではないかと。 ○母語教育と進路実現に向けた取組を、両輪で進めていくことが大切だと考える。 ○PTAと学校の連携について、良い評価を受けているが、PTAとしてまだ伝えられていない部分があることが分かった。PTAの活動について、保護者だけでなく先生方の意見も取り入れながら、時代に合わせて変化させていきたい。 ○教育現場の労働環境改善について、先生方の働き方をサポートする新しい仕組みの構築が必要だと考える。 ○自己点検から、平素より教職員間でよく話し合い、チームとして生徒の育成に取り組んでいる様子が伺える。 ○日々の振り返りを実践し、常により良い教育を求めて、子供たちに真摯に向き合う様子が見て取れる。 ○生徒会や部活動、ボランティア活動などを通じて生徒の自己実現を促進して行ってほしい。 ○携帯電話使用や服装規定の自由化など、生徒の自主性を尊重した校則改革が行われており、これが生徒の学校生活への満足度向上に寄与している。 ○教員の労働環境やワークライフバランスの改善が、教員自身のやりがいや職業としての魅力向上に繋がる。 ○設立から20年経過し、これまでの評価と今後の方向性について、考えていかなければならない。 ○教育の現場では数字だけでは測れない生き甲斐や、教員としての充実感などが重要である。教育の質を向上させるためにもワークライフバランスや勤務時間の適正化に取り組んでほしい。 ○自己評価を次のアクションにどうつなげていくのか、PDCAサイクルで検証し、学校教育を現代の社会的要請に応える形で進化させてほしい。
		2. 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。	86.0%	7.0%	7.0%	86.0%	7.0%	
		3. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。	77.3%	18.2%	4.5%	77.3%	18.2%	
		4. 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。	79.5%	11.4%	9.1%	79.5%	11.4%	
生徒指導	集団を高める力	5. いじめ、不登校などの教育課題の緊急性や重要性を理解し、その予防・解決に取り組むことができる。	86.0%	11.6%	2.3%	86.0%	11.6%	
		6. 学年・学級目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。	63.4%	17.1%	19.5%	63.4%	17.1%	
チームで組織を担う	協働性 同僚性	7. 児童生徒との適切な距離を保ちながら、生活背景や内面の理解に努め、カウンセリングマインドとストレスマネジメントに基づく指導を行うことができる。	90.7%	9.3%	0.0%	90.7%	9.3%	
		8. 「教職員の勤務時間適正化推進プラン」をもとに、ワークライフバランスや勤務時間の適正化を意識しながら、計画的に仕事を進めることができる。	55.8%	39.5%	4.7%	55.8%	39.5%	
		9. 児童生徒への指導等に関して、同僚・先輩や管理職等に相談し、指導に生かすことができる。	88.4%	7.0%	4.7%	88.4%	7.0%	
資質向上	自己管理 能力 変革力	10. 校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。	88.4%	9.3%	2.3%	88.4%	9.3%	
		11. 校内の情報を適切に管理し、取り扱うことができる。	97.7%	0.0%	2.3%	97.7%	0.0%	
		12. 学校安全のための危機管理を理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。	88.6%	6.8%	4.5%	88.6%	6.8%	
資質向上	自己管理 能力 変革力	13. 日頃から、ストレスマネジメントに努めるとともに、教員として自覚ある行動をとることができる。	93.2%	6.8%	0.0%	93.2%	6.8%	
		14. 適切な言動を心がけ、児童生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。	90.9%	6.8%	2.3%	90.9%	6.8%	
		15. 日々の実践等を振り返り、自らの教育活動の工夫・改善に努めている。	88.6%	11.4%	0.0%	88.6%	11.4%	

(3) 学校関係者評価 (総合)